

ケアラー支援アセスメント研修

開催要綱

趣旨 ケアラーはこれまで「家族介護者」「家族内のケア問題」と認識されており、ケアラー自身の困りごとや人生についてはSOSを出しづらく、周囲から見えづらい存在でした。そのため、ケア世帯にかかる専門職はケアラーの抱える課題にいち早く気づき、適切な支援につなげていくことが重要です。

本研修では、ケアラーに寄り添ったアセスメントをすすめるためのポイントとツールの活用方法について学びます。

研修のポイント！

ケアラーアセスメントツールの 活用方法が学べます

ケアラー支援推進センターが作成した「ケアラー支援アセスメントシート」の活用方法がわかりやすく学べます。

ケアラー支援をすすめるためのネットワークが 広がります

講師や他の参加者と意見を交換しながら進めるので、終了後も気軽に相談できる仲間づくりができます。

開催形式

集合

日程・会場

令和8年2月20日（金）
札幌市／かでる2.7 5階510会議室

対象

ケアラー支援に興味関心がある福祉関係者

※「ケアラー支援関係機関職員等研修（応用研修）または初年度研修を修了した方が望ましい

定員

60名

※申込み多数の場合は、一事業所あたりの受講者数を制限、または先着順とする

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

申込期間

令和8年1月8日（金）～2月6日（金）

受講可否

令和8年2月13日（木）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
9：45～10：15	受付	研修費用の支払い
10：15～10：30	オリエンテーション	日程、資料等の確認
10：30～11：00	講義1 「ケアラー支援の現状と課題」	ケアラー支援について、現状と課題、国 の動向等を確認し、専門職に求められる役 割について再認識します。
11：00～15：30 ※12：00～13：00 昼食休憩予定	講義2・演習 「ケアラーを支援するための アセスメント」	ケアラー支援アセスメントシートを活 用した演習（グループワーク）を通して、 ケアラーに寄り添うアセスメントについ て学びます。
15：30～16：00	総括	前段の演習から、改めてケアラー支援ア セスメントシートの活用ポイントを学び、 今後、自身が専門職としてどのようにケア ラー支援をすすめていくか、考えます。
16：00～16：10	閉講	

＜ケアラー支援に関する現状＞

令和4年4月に「北海道ケアラー支援条例」が施行され、今年で3年が経過しました。令和7年7月現在では、道内6市町で独自にケアラー支援に関する条例が制定されています。

国でも「認知症基本法」「医療的ケア児支援法」等、ケアラー支援（家族支援）に言及する個別法が制定されたり、令和7年度の「骨太の方針2025」においてケアラー関係が明記（※）されたり等、ケアラー支援は今や地域づくりにおける重要な課題となっています。

これまで家族介護の中で「キーパーソン」「介護の担い手」としての役割を果たしてきたケアラー（家族介護者）ですが、近年ではケアラー自身の心身の不調や孤独・孤立、介護離職（ワーキングケアラー問題）、介護殺人・自殺等の課題がみえてきました。また、小中高校において、ひとクラスに1～2人のヤングケアラーが存在していることもわかり、ケアラー問題は大きな社会課題であることが認識されています。

※令和7年度より、「誰一人取り残さない社会の実現（共生・共助）」にケアラー支援が
明記されています